青少年への助言

若いうちに、あなたの創造主を覚えなさい。災いの日が来ず、あなたが「私はそれらに喜びを感じない」と言う年が近づかないうちに。**伝道の書** 12:1

…人の心の思いは、若い時から悪である。…**創世記** 8:21

あなたの父と母を敬いなさい。そうすれば、あなたの神、主があなたに与える地で、あなたの寿命が長くなるであろう。**出エジプト記** 20:12

もし彼らが主に従い仕えるならば、彼らは日々繁栄し、年月を喜びのうちに過ごすであろう。しかし、もし彼らが従わないならば、彼らは剣によって滅び、知識もなく死ぬであろう。しかし、偽善者は心の中で怒りを積み重ね、主が彼らを縛っても叫ばない。彼らは若くして死に、彼らの人生は汚れた者たちの間にある。**ヨブ記** 36:11-14

主なる神よ、あなたは私の希望です。あなたは私の若い時からの私の信頼です。わたしは母の胎内からあなたによって支えられてきました。あなたはわたしを母の胎内から取り出した方です。わたしは絶えずあなたを賛美します。**詩篇**71:5-6

若者はどのようにして自分の道を清めることができるでしょうか。あなたの言葉に従って、それに注意を払うことによってです。**詩篇**119:9

わが子よ、主の懲らしめを軽んじてはならない。また、主の戒めにうんざりしてはならない。主は愛する者を懲らしめ、父が喜ぶ子を懲らしめるように。**箴言** 3:11-12

ソロモンの箴言。賢い子は父を喜ばせるが、愚かな子は母の重荷となる。**箴言** 10:1

あなたを生んだ父に聞き従い、年老いた母を軽んじてはならない。**箴言** 23:22

若者よ、若さを喜び、若さの日々に心を躍らせ、心の赴くままに、目の見えるままに歩め。しかし、これらのことすべてについて、神はあなたを裁かれることを知りなさい。それゆえ、心から悲しみを取り除き、肉体から悪を捨て去れ。幼年期と青春期は空しいものだから。
伝道の書 11:9-10

あなたは知らなかったのか。地の果てを創造された永遠の神、主は、疲れることも、倦むこともない。その知恵は測り知れない。主は疲れた者に力を与え、力のない者に力を増し加えられる。若者も疲れ果て、若者も倒れる。しかし、主を待ち望む者は力を新たにされ、鷲のように翼を広げて舞い上がり、走っても疲れることなく、歩いても弱ることなく進む。**イザヤ書** 40:28-31

そのとき、幼子たちがイエスのところに連れて来られ、イエスが彼らに手を置いて祈ってくださるようにと願った。弟子たちは彼らを叱った。しかしイエスは言われた。「幼子たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。天の御国はこのような者たちのものだからである。」そしてイエスは彼らに手を置いて、そこを去られた。すると、ある人がイエスのところに来て言った。「善い先生、永遠の命を得るためには、どんな善いことをすればよいでしょうか。」イエスは言われた。「なぜわたしを善いと呼ぶのか。善い方はただ一人、神だけである。もし命に入りたいなら、戒めを守りなさい。」彼はイエスに言った。「どの戒めですか。」イエスは言われた。「殺してはならない、姦淫してはならない、盗んではならない、偽証してはならない、父と母を敬いなさい、そして、隣人を自分自身のように愛しなさい。」若者はイエスに言った。「これらのことはすべて、幼い頃から守ってまいりました。他に何か足りないものはありますか？」イエスは彼に言われた。「もしあなたが完全になりたいなら、行って持ち物をすべて売り、貧しい人々に与えなさい。そうすれば天に宝を持つことになるでしょう。そして、わたしに従いなさい。」しかし、若者はこの言葉を聞いて、悲しんで立ち去った。彼は多くの財産を持っていたからである。**マタイによる**福音書 19:13-22

子どもたちよ、主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだからです。あなたの父と母を敬いなさい。（これは約束を伴う第一の戒めです。）そうすれば、あなたは幸いになり、地上で長生きするでしょう。**エペソ人への**手紙 6:1-3

だれにもあなたの若さを軽んじさせてはならない。むしろ、言葉、行い、愛、信仰、清さにおいて、信じる者たちの模範となりなさい。**テモテへの**手紙第一 4:12

若い時の情欲から逃れなさい。そして、清い心で主を呼び求める人々と共に、義、信仰、愛、平和を追い求めなさい。**テモテへの**手紙第二 2:22

知恵は力強く端から端まで届き、すべてのものを優しく秩序づける。私は彼女を愛し、若い頃から彼女を求め、彼女を妻にしたいと願い、彼女の美しさを愛した。**ソロモンの**知恵 8:1-2

子らよ、父の言うことを聞き、その後はそれに従いなさい。そうすれば、あなたがたは安全である。主は父に子らに対する栄誉を与え、母に子らに対する権威を確固たるものとされたからである。父を敬う者は自分の罪を贖う。母を敬う者は宝を蓄える者のようである。父を敬う者は自分の子らを喜び、祈るときは聞き届けられる。父を敬う者は長生きし、主に従う者は母の慰めとなる。主を畏れる者は父を敬い、主人に対するように両親に仕えるであろう。言葉と行いの両方で父と母を敬いなさい。そうすれば、彼らから祝福があなたに臨むであろう。父の祝福は子らの家を堅くするが、母の呪いは基礎を根こそぎにするからである。父の不名誉を誇ってはならない。父の不名誉は、あなたにとって栄光ではない。人の栄光は父の名誉から来る。母の不名誉は、子らの恥辱である。わが子よ、父が年老いたときには助け、父が生きている限り悲しませてはならない。父の理解力が衰えたとしても、父に忍耐強く接し、あなたが力に満ちているときには父を軽んじてはならない。父を助けたことは忘れられることはなく、罪の代わりに、あなたを成長させるために加えられる。あなたが苦難の日に、それは思い出され、あなたの罪もまた、晴れた暖かい日の氷のように溶け去るであろう。父を捨てる者は神を冒涜する者と同じであり、母を怒らせる者は神に呪われる。**シラ書** 3:1-16

わが子よ、若いうちから教えを受けよ。そうすれば、老齢になるまで知恵を見いだすであろう。**シラ書** 6:18

心から父を敬い、母の悲しみを忘れてはならない。汝は彼らから生まれたことを覚えておきなさい。彼らが汝のためにしてくれたことに対して、どうして報いることができるだろうか。**シラ書** 7:27-28

我が子をからかうと、彼は汝を恐れさせるであろう。彼と遊ぶと、彼は汝を憂鬱にさせるであろう。彼と共に笑ってはならない。さもないと、彼と共に悲しみ、最後には歯ぎしりをすることになるであろう。彼の若いうちに自由を与えてはならない。彼の愚行を見て見ぬふりをしてはならない。幼いうちに首を曲げさせ、子供のうちに脇腹を叩きなさい。そうすれば、彼は頑固になり、あなたに逆らい、あなたの心を悲しませることになるでしょう。**シラ書** 30:9-12